

みずしま検診クリニック 安全な医療のための指針

① 根づかせよう安全文化 みんなの努力と活かすシステム【安全文化】

全ての職員は、受診者様の安全を最優先に考えて業務に取り組みます。安全に関する知識や技術を常に学び向上することを心がけます。事故予防のためのシステムづくりに取り組みます。

② 安全高める受診者の参加 対話が深める互いの理解【対話と受診者参加】

医療内容について十分に説明し、受診者様に医療に参加していただきます。一方的な説明ではなく、受診者様との対話を心がけます。受診者様が質問や考えを伝えやすい雰囲気をつくれます。



③ 共有しよう 私の経験 活用しよう あなたの教訓【問題解決型アプローチ】

すべての職員が積極的に報告システムに参加し経験を共有します。報告された事例の原因を分析します。得られた改善策は職員全員で学び、実践します。個人の責任を追及するのではなく、システムの問題ととらえ改善していく「問題解決型」で取り組みます。



④ 規則と手順 決めて 守って 見直して【規則と手順】

現実的かつ合理的な規則や手順を文書として整備します。さらにそれらを必ず守ります。必要なときには積極的に改善提案し、見直します。見直しの際には関係者とよく話し合います。



⑤ 部門の壁を乗り越えて 意見かわせる 職場をつくろう【職員間のコミュニケーション】

気づいたらお互いに率直に意見を伝え、周りの意見には謙虚に耳を傾けます。上司や先輩から率先してオープンな職場づくりを心がけます。関係する他施設とのコミュニケーションにも努めます。



⑥ 先の危険を考えて 要点押さえて しっかり確認【危険の予測と合理的な確認】

業務分析を行い、確認すべき点を明らかにし、要点を押さえて定めた確認をしっかりと行います。早期に危険を見つけるために、正しい知識を身につけます。「いつもと違う。何か変」と感じる感性を大切にします。



⑦ 自分自身の健康管理 医療人の第一歩【自己の健康管理】

安全な医療を提供するためには自らの健康や生活を管理することが必要であり、これは医療人の基本です。業務に備えて健康管理や生活管理を心がけます。リーダーはメンバーの体調や健康状態に配慮します。



⑧ 事故予防 技術と工夫も取り入れて【技術の活用と工夫】

安全確保のための取り組みを人間の力だけで行うには限界があります。積極的に技術を活用し、人的ミスの発生を減らします。機器や器具などの購入や採用にあたっては、安全面や操作性に優れたものを選定します。



⑨ 整えよう施設内環境 つくりあげよう作業環境【環境整備】

施設内の整理・整頓・清潔・清掃に取り組みます。他の人にもわかりやすい正確な記録を心がけます。医療機器等は操作方法をよく理解し、始業・終業点検や保守点検を行った上で使用します。